

第90期 中間報告書

2016年4月1日 — 2016年9月30日

■ CONTENTS

ごあいさつ	1
連結業績ハイライト	2
事業別営業概況	3
トピックス	5
連結財務諸表	7
株式の概要	9
会社概要	10
株式についてのご案内	裏表紙

株主の皆様には日頃よりご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第90期第2四半期連結累計期間（2016年4月1日から2016年9月30日まで）の事業活動についてご報告申し上げます。



代表取締役社長
倉井 敏磨

当第2四半期連結累計期間（2016年4月1日～2016年9月30日）における世界経済は、米国の回復基調がみられたものの、中国をはじめとした新興国経済の減速懸念など先行きについては不透明な状況が続きました。国内経済は、円高の進行があったものの、雇用情勢の改善が継続し、緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの売上高は、円高やメタノール市況の下落などにより、減収となりました。

営業利益は、円高の影響がありましたが、エンジニアリングプラスチックスを中心に原燃料安等による採算改善があったことなどから、増益となりました。

経常利益は、海外メタノール生産会社の持分法利益は減少しましたが、営業利益の増加に加え、エンジニアリングプラスチックス関連会社の持分法利益が増加したこともあり、増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の減少がありましたが、経常利益が増加したことにより、前年同期並みとなりました。

以上の結果、売上高2,679億円（前年同期比323億円減（10.8%減））、営業利益192億円（前年同期比39億円増（25.7%増））、持分法利益75億円（前年同期比5億円減（7.4%減））、経常利益246億円（前年同期比34億円増（16.5%増））、親会社株主に帰属する四半期純利益185億円（前年同期比0億円減（0.0%減））となりました。

株主の皆様には引き続きご支援、ご鞭撻を賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

2016年12月

中期経営計画 「MGC Advance2017」

【グループビジョン】

「社会と分かち合える価値の創造」

【基本方針】

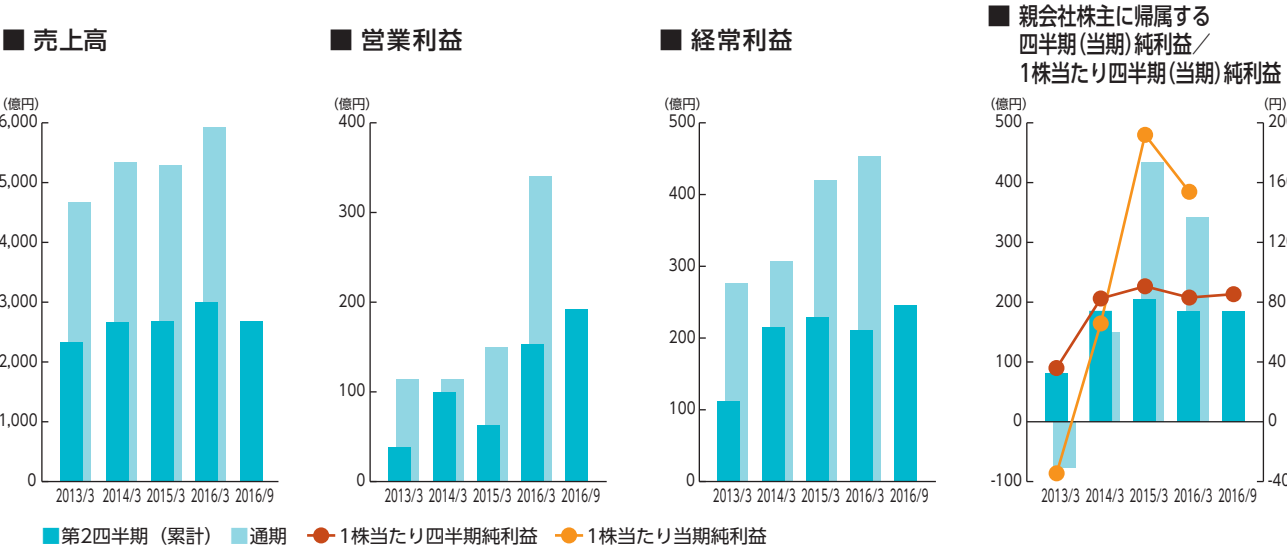
1. 中核事業を中心とした既存事業の収益力強化
2. 不採算事業の再構築
3. 新規事業の創出と育成
4. グループ全体の経営効率改善
5. 持続的成長を支える＜質＞の向上

【2017年度 目標連結財務指標】

売上高	7,000 億円
営業利益	400 億円
経常利益	550 億円
ROE (自己資本利益率)	9 %以上

連結業績ハイライト

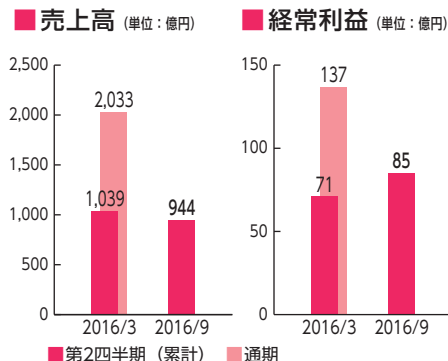
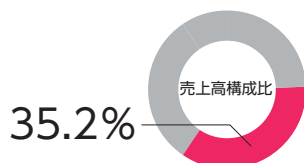
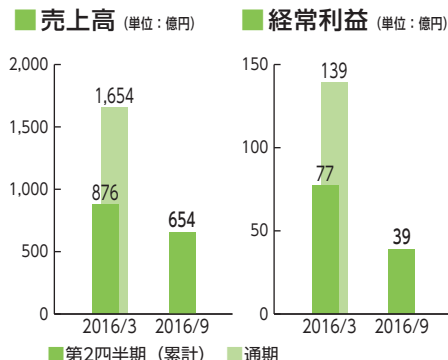
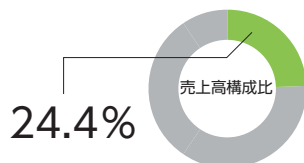
	(単位：百万円)		
	当第2四半期(累計) 2016年4月1日～ 9月30日	前第2四半期(累計) 2015年4月1日～ 9月30日	前期 2015年4月1日～ 2016年3月31日
売上高	267,935	300,294	593,502
営業利益	19,269	15,333	34,018
経常利益	24,612	21,131	45,432
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	18,524	18,524	34,134
1株当たり四半期（当期）純利益（円）	85.34	83.10	153.85



(注) 当社は、2016年10月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期（当期）純利益は、2013年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

事業別営業概況

(2016年4月1日～2016年9月30日)



天然ガス系化学品事業

主要製品
メタノール、アンモニア、メチルアミン、
MMA、多価アルコール 等

メタノールは、市況下落などにより減収減益となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、原料価格の下落があったものの、製品市況の下落や円高などにより、減収減益となりました。

原油その他のエネルギー販売は、原油価格下落の影響により、減収減益となりました。

以上の結果、売上高654億円（前年同期比221億円減（25.3%減））、営業利益3億円（前年同期比17億円減（82.4%減））となりました。また、海外メタノール生産会社を中心とする持分法利益を40億円計上した結果、経常利益は39億円（前年同期比38億円減（49.6%減））となりました。

芳香族化学品事業

主要製品
メタキシレンジアミン、MXナイロン、
芳香族アルデヒド、発泡プラスチック 等

特殊芳香族化学品は、円高により減収減益となりました。

汎用芳香族化学品は、高純度テレフタル酸の販売終了に加え、製品市況下落や円高により売上高は減少しましたが、原燃料安による採算改善などにより、増益となりました。

発泡プラスチック事業は、円高の影響はありましたが、原材料安や付加価値の高い製品の販売が好調であったこともあり、増益となりました。

以上の結果、売上高944億円（前年同期比94億円減（9.1%減））、営業利益90億円（前年同期比12億円増（16.6%増））、経常利益85億円（前年同期比14億円増（19.9%増））となりました。

機能化学品事業

主要製品
過酸化水素、電子工業用薬品、
ポリカーボネート樹脂、ポリアセタール樹脂 等

無機化学品は、円高や液晶・半導体向け薬液の販売数量が減少したこともあり、減収減益となりました。

エンジニアリングプラスチックスは、ポリカーボネート、ポリアセタール、ポリカーボネートシート・フィルムともに、原燃料価格の下落等により採算が改善したことなどから、増益となりました。

以上の結果、売上高828億円（前年同期比8億円増（1.0%増））、営業利益96億円（前年同期比39億円増（70.2%増））となりました。また、エンジニアリングプラスチックス関連会社を中心とする持分法利益を27億円計上した結果、経常利益は114億円（前年同期比56億円増（96.4%増））となりました。

特殊機能材事業

主要製品
プリント配線板用材料、脱酸素剤 等

電子材料は、主力の半導体パッケージ向けBT材料の販売数量が増加したことなどから、増収増益となりました。

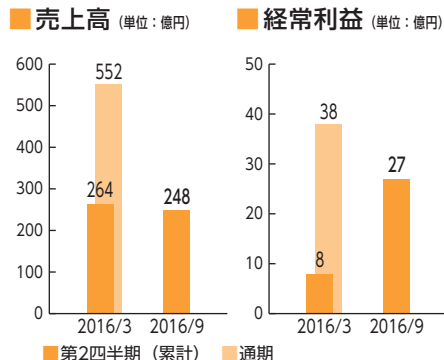
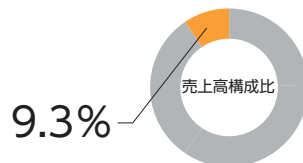
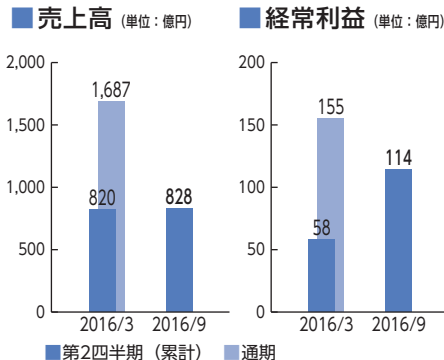
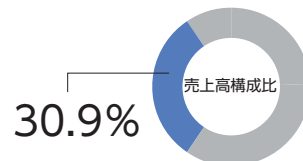
「エージレス®」等の脱酸素剤は、国内食品用途は前年同期並みで推移したものの、円高により、前年同期をやや下回る損益となりました。

以上の結果、売上高248億円（前年同期比15億円減（5.8%減））、営業利益20億円（前年同期比9億円増（87.2%増））となりました。また、第1四半期連結会計期間に新たに持分法適用関連会社とした2社の持分法利益を6億円計上した結果、経常利益は27億円（前年同期比18億円増（217.2%増））となりました。

その他の事業

不動産業など

その他の事業の売上高は3億円（前年同期比0億円減（6.3%減））、営業利益は0億円（前年同期比0億円増（8.8%増））、経常利益は0億円（前年同期比0億円増（57.7%増））となりました。



1

特殊ポリカーボネート樹脂の生産能力増強 ～EP-8000 (屈折率1.66) の市場展開も開始～

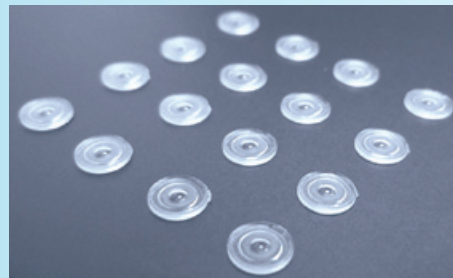
生産能力が従来の3倍に。モバイルカメラにおける高需要に対応

鹿島工場において、特殊ポリカーボネート樹脂の生産能力を増強しました。

また、小型高解像度のカメラレンズ向けとしては最高の屈折率1.66を有する「ユピゼータ®EP-8000」の市場展開を開始しました。

特殊ポリカーボネートは、近年、スマートフォンに代表されるモバイル機器のカメラレンズ向け需要が伸長しており、今後、車載用途や監視カメラなどへの応用が期待されています。当社は、これからも製品力の強化と安定供給に努め、お客様のニーズに対応していきます。

「ユピゼータ®EPシリーズ」は高屈折率・低複屈折を特徴とする特殊ポリカーボネート樹脂で、一般社団法人日本化学工業協会の第48回(2016年度)日化協技術賞の最高賞である総合賞を受賞しています。



「ユピゼータ®EP」を用いたスマートフォン向けカメラレンズ

2

抗体医薬品製造会社の設立について

高品質・高付加価値の医薬品を国内で製造し提供

日本化薬株式会社と、バイオ後続品を含む抗体医薬品の製造および企画開発・受託事業を展開する合弁会社を設立しました。

抗体医薬品は従来の低分子医薬品に比べて、有効性と安全性に優れる点が多く使用機会が増加傾向にある一方、高額であるため、患者個人および医療保険への負担が課題となっています。また、我が国はバイオ医薬品の多くを輸入に頼っており、高品質なバイオ医薬品を国内で製造し、安定供給体制を整備することも大きな課題となっています。

特許満了を迎え、価格が抑えられたバイオ医薬品の後続品(バイオシミラー)は今後一層の普及が期待されており、両社は互いの知識と経験を融合させた新社により、我が国におけるバイオ後続品の普及に努めます。

<新社概要>

社名	株式会社カルティベクス (Cultivecs Inc.)
設立年月日	2016年6月7日
所在地	東京都千代田区 (三菱ガス化学内)
工場所在地	新潟県新潟市 (三菱ガス化学新潟工場内)
資本金	50百万円(設立時)
出資比率	三菱ガス化学55%、 日本化薬45%
事業概要	抗体医薬品製造の企画・受託
代表者	取締役社長 藤井 政志



3

メタクリル酸グリシジルの生産能力増強について

生産量を倍増させ、世界の自動車生産数増加に対応

新潟工場において、自動車向けトップコート塗料の原料等として使用されるメタクリル酸グリシジル(GMA)の生産能力を増強します。

主用途である自動車向けトップコートには、GMAを原料に使用する酸-エポキシ系塗料の採用が拡大し、今後も世界の自動車生産台数増加に合わせた成長が見込まれています。

当社は、1979年以降、新潟工場においてGMAの事業を拡大させてきましたが、同製品の用途は自動車向け塗料のみならず、エンブラ改質剤、接着剤、その他塗料などにも利用されています。今般、生産能力を増強することにより、今後増加が見込まれる需要に対応していきます。



株式併合に伴うご所有株式数の変更について

当社は第89回定時株主総会の決議に基づき、本年10月1日をもって当社株式2株を1株に併合いたしました。

これにより、すべての株主の皆様のご所有株式数は従来の1/2となっております。

併合の理由は？

当社は、全国証券取引所の方針に従い、本年10月1日をもって当社の単元株式数を従来の1,000株から100株へと変更いたしました。これに合わせ、証券取引所が望ましいとする投資単位の水準(5万円以上50万円未満)に調整することを目的として、株式併合を行いました。

株式の価値の変化はありますか？

株主様の持分比率に変更はないため、保有株式全体の価値に影響を与えるものではありません。

株式併合に伴い必要な手続きは？

この株式併合に伴う特段のお手続きの必要はございません。

端数株式の取り扱いについて(配当関係書類に記載の「処分分配金」について)

株式併合により生じた1株未満の端数株式は当社が一括して処分し、その代金を端数が生じた株主様に対して、このたびの中間配当金と合わせて交付いたします。配当関係書類に記載の「処分分配金」とは、上記の端数株式の処分代金のこととなります。端数株式が生じていない株主様につきましても、そのことを明らかにするため記載しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要約)

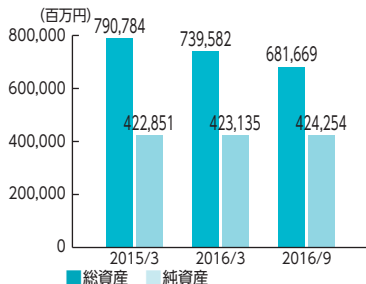
(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 (2016年9月30日現在)	前期 (2016年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	304,067	341,237
現金及び預金	71,594	84,097
受取手形及び売掛金	127,600	136,401
有価証券	264	121
たな卸資産	90,212	100,113
その他	14,394	20,503
固定資産	377,602	398,344
有形固定資産	207,315	230,525
建物及び構築物	70,676	73,092
機械装置及び運搬具	72,687	81,221
その他	63,951	76,211
無形固定資産	8,195	8,740
投資その他の資産	162,090	159,079
投資有価証券	154,309	150,431
その他	7,781	8,647
① 資産合計	681,669	739,582

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 (2016年9月30日現在)	前期 (2016年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	178,670	214,676
支払手形及び買掛金	58,350	60,819
短期借入金	70,301	93,911
その他	50,017	59,945
固定負債	78,745	101,771
社債	10,000	10,000
長期借入金	37,106	46,947
その他	31,638	44,823
② 負債合計	257,415	316,447
(純資産の部)		
株主資本	390,546	373,258
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	35,603	35,603
利益剰余金	334,794	311,250
自己株式	△21,821	△15,566
その他の包括利益累計額	△9,978	3,686
その他有価証券評価差額金	10,765	9,816
為替換算調整勘定	△19,557	△4,613
その他	△1,185	△1,517
非支配株主持分	43,686	46,190
③ 純資産合計	424,254	423,135
負債・純資産合計	681,669	739,582

■ 総資産／純資産



① 資産合計

現金及び預金や有形固定資産が減少したことなどにより、減少しました。

② 負債合計

借入金やリース債務が減少したことなどにより、減少しました。

③ 純資産合計

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより利益剰余金が増加したことなどから、増加しました。

連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期(累計) (2016年4月1日から 9月30日まで)	前第2四半期(累計) (2015年4月1日から 9月30日まで)
④ 売上高	267,935	300,294
売上原価	205,896	240,451
販売費及び一般管理費	42,769	44,508
⑤ 営業利益	19,269	15,333
営業外収益	10,156	11,240
営業外費用	4,813	5,442
⑥ 経常利益	24,612	21,131
特別利益	201	3,882
特別損失	263	1,564
税金等調整前四半期純利益	24,550	23,448
法人税等	3,180	2,852
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,844	2,072
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,524	18,524

④ 売上高

円高やメタノール市況の下落などにより、減収となりました。

⑤ 営業利益

円高の影響がありましたが、エンジニアリングプラスックスを中心に原燃料安等による採算改善があったことなどから、増益となりました。

⑥ 経常利益

海外メタノール生産会社の持分法利益は減少しましたが、営業利益の増加に加え、エンジニアリングプラスックス関連会社の持分法利益が増加したこともあり、増益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期(累計) (2016年4月1日から 9月30日まで)	前第2四半期(累計) (2015年4月1日から 9月30日まで)
税金等調整前四半期純利益	24,550	23,448
減価償却費	12,296	13,115
持分法による投資利益	△7,514	△8,113
持分法適用会社からの 配当金の受取額	7,359	1,162
運転資金等	11,221	△5,170
法人税等の支払額または還付額	△1,704	4,068
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,208	28,510
設備投資資金等	△14,075	△13,640
投融資資金等	△1,474	△2,111
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,549	△15,752
借入金・社債増減額等	△28,290	△13,506
自己株式の取得による支出	△6,256	△7,429
配当金支払額	△3,533	△3,161
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,080	△24,097
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,206	684
現金及び現金同等物の増減額	△12,628	△10,653
現金及び現金同等物の期首残高	75,828	72,678
現金及び現金同等物の四半期末残高	63,200	62,024

株式の概要

(2016年9月30日現在)

発行可能株式総数 984,856,000株

発行済株式の総数 483,478,398株

株主数 22,466名

上場取引所 東京証券取引所第一部（証券コード：4182）

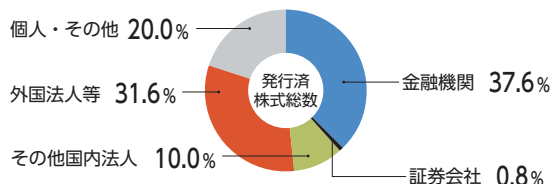
大株主

株主名	持株数（千株）	出資比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	20,528	4.8%
日本生命保険相互会社	17,591	4.1%
明治安田生命保険相互会社	16,795	3.9%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	16,150	3.7%
株式会社三菱東京UFJ銀行	10,803	2.5%
農林中央金庫	10,053	2.3%
旭硝子株式会社	9,671	2.2%
三菱UFJ信託銀行株式会社	7,012	1.6%
MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	6,637	1.5%
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	6,446	1.5%

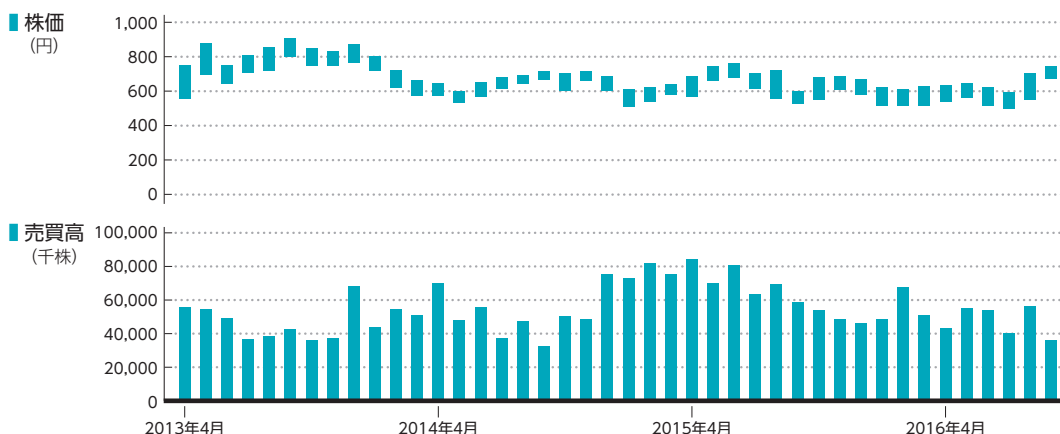
当社では、株式併合（2株を1株に併合）の結果、2016年10月1日以降、発行可能株式総数、すべての株主の皆様のご所有株式数のいずれも従来の1/2となっております。

(注) 1. 当社は自己株式を51,838千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 出資比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



株価等の状況



(2016年9月30日現在)

社 名 三菱ガス化学株式会社
(登記商号：三菱瓦斯化学株式会社)
MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

資本金 419億7千万円

従業員数 2,348名 (連結：8,004名)

本社 〒100-8324
所在地 東京都千代田区丸の内二丁目5番2号 三菱ビル

事業所 営業所：大阪支店

研究所：東京テクノパーク（東京研究所、
MGC分析センター）、新潟研究所、
平塚研究所

創業 大正7 (1918) 年1月15日

設立 昭和26 (1951) 年4月21日

工 場：新潟工場、水島工場、四日市工場、
山北工場、鹿島工場

役	員	代表取締役 会長	酒井和夫	取締役 常務執行役員	水上政道	執行役員	築地永治	理事	満田信一
		代表取締役 社長	倉井敏磨	取締役 取社取締役	二瓶好正	執行役員	平本欣司		
		代表取締役 専務執行役員	河邦雄	取締役 取社取締役	谷川和生	執行役員	藤井弘也	監査・ 外部 監査役	木村高志
		代表取締役 専務執行役員	稲政顕次			執行役員	堀口和秀	監査・ 外部 監査役	渡邊哲志
		取締役 常務執行役員	林勝茂	執行役員	岩切常昭	執行役員	大久保知彦	監査・ 外部 監査役	杉田克彦
		取締役 常務執行役員	城野正博	執行役員	設楽琢治	執行役員	太田貴夫	監査・ 外部 監査役	松山保臣
		取締役 常務執行役員	佐藤康弘	執行役員	久保田千春	執行役員	大塚裕之		
		取締役 常務執行役員	藤井政志	執行役員	高木俊哉	執行役員	有吉伸久		
		取締役 常務執行役員	吉田晋	執行役員	稻荷雅人	執行役員	加藤賢治		

連結子会社（70社）

木江ターミナル(株)
(株)日本ファインケム
(株)JSP
JSP ININTERNATIONAL GROUP LTD.
フドー(株)
永和化成工業(株)
MGC PURE CHEMICALS AMERICA, INC.
MGC PURE CHEMICALS SINGAPORE PTE.LTD.
三永純化(株)
巨菱精密化学股份有限公司
MGCフィルシート(株)

THAI POLYACETAL CO., LTD.
三菱瓦斯化学工程塑料（上海）有限公司
MGCエレクトロテクノ(株)
MGC ELECTROTECHNO (THAILAND) CO.,LTD.
(株)東京商会
菱江化学(株)
菱陽商事(株)
MITSUBISHI GAS CHEMICAL SINGAPORE PTE. LTD.
MITSUBISHI GAS CHEMICAL AMERICA, INC.
MGC MONTNEY HOLDINGS LTD.

他 49社

株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
同総会権利行使株主確定日	3月31日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL： http://www.mgc.co.jp/ir/public_notices/
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 (0120) 232-711 (フリーダイヤル)

ホームページではさまざまな
情報をご覧いただけます。



<http://www.mgc.co.jp/>

株式に関するマイナンバー制度のご案内

マイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となりますため、株主様から、お取引の証券会社等へご提供いただく必要がございます。

【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】

法令に定められたとおり、株式に係る各種支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出します。

【マイナンバーのご提供に関するお問い合わせ先】

証券会社の口座にて株式を管理されている株主様

…お取引の証券会社にお申し出ください。

証券会社とのお取引がない株主様

…三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。

連絡先：右記2）ご参照

株式に関するお問い合わせ先

- 1) 証券会社等の口座に記録された株式に関するお問い合わせ先：
お取引の証券会社等にお問い合わせください。

(注) なお、支払期間経過後の配当金支払、郵送物の発送に関するご照会については、下記の特別口座の場合の連絡先をご利用ください。

- 2) 特別口座に記録された株式に関するお問い合わせ先：
三菱UFJ信託銀行株式会社（特別口座管理機関）にお問い合わせください。

連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 (0120) 232-711 (フリーダイヤル)

特別口座に関する手続用紙

音声自動応答電話によるご請求：

電話 (0120) 244-479 (フリーダイヤル)

インターネットによるダウンロードURL：

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株式併合に伴うご所有株式数の変更に関するご案内を6ページに掲載しております。
本件に関する詳細は当社ホームページに掲載のQ&Aをご参照ください。

<http://www.mgc.co.jp/ir/pdf/161021.pdf>

